

2025年 新春のごあいさつ

会長 須藤 英雄

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、令和7年の新春を、ご家族皆様とともに穏やかに迎えることとお慶び申し上げます。

令和6年の定期総会で会長になりましたから、初めての新年を迎えました。昨年は以前から継続している事業を推進していく事に向き合っていました。

いくつかを紹介してみます。

日本ユネスコ協会連盟を通じて全国で展開している「平和の鐘を鳴らす」事業では、前橋市国際交流協会事業とタイアップして多くの外国籍の方に「太陽の鐘」を鳴らしていただくことができました。

また、昭和55年から交流をしているインドネシアバリ島のラジャヤムーナ校を訪問して旧交を温め、今後の交流を進めていく事が確認されました。その他、児童絵画展や古墳探検隊では、申込方法のインターネット化など新しい時代への模索を始めました。このように事務局をはじめ会員皆様のおかげで多くの事業を遂行することができました。

そして今、新年に合わせて書き損じはがきを2月上旬まで収集しています。ユネスコ運動に、あらためて皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、変異したコロナやインフルエンザなど、まだまだ心配事がつきませんが、会員皆様の日常生活が平穏に送ることができますことを期待するとともに、本年が皆様にとりまして健康で幸多き一年となりますようにご祈念を申し上げ、年頭にあたりましてのご挨拶といたします。

書き損じはがきの収集について

毎年、年賀はがきに併せて、1月から2月にかけて、書き損じはがきの寄付と募金を実施しています。

学校や公民館（市民サービスセンター）へもお願いをしていますが、会員の皆様や、周りの知人のご協力をぜひともお願いいたします。役員や市生涯学習課に書き損じはがきを届けてください。

回収したはがきは、コーアクション事業としてユネスコ世界寺子屋運動に対応させていただきます。

文化遺産めぐりについて（報告）

第3回「文化遺産めぐり～わたしのまちの古墳探検隊」を実施しました。

◆日時; 2024年11月17日（日）

◆場所; 総社古墳群（総社歴史資料館）

◆内容; 集合場所の総社歴史資料館で展示見学の後、参加者24名が5チームに分かれてスタンプラリー形式で7ポイントを回り、地域の文化財を学び、ゴール後にクイズを実施した。地元の6中生徒の協力を得ることが出来ました。

◆参加等; 24名（運営11名別）



チェックポイント蛇穴山古墳

今年度の主な事業

- 5月11日（土）前橋ユネスコ協会総会
5月19日（日）群馬県ユネスコ連絡協議会総会
6月8日（土）平和の鐘を鳴らそう
9月27日～10月7日 児童絵画展(元気21)
10月12日（土）関東ブロック大会
10月18日（金）県運営研修会（沼田）
10月18日～29日フィリピン、バリツアー
11月2日（土）県海外青年交換研修会
（伊勢崎）
11月17日（日）文化遺産めぐり
12月3日（火）県ユネスコスクール研修会
（藤岡）
1月・2月 書き損じはがき回収



「平和の鐘を鳴らそう」事業

第三回「平和の鐘を鳴らそう」を実施しました。今年度は前橋市国際交流協会「チャット&ウオーク」事業とコラボして、岡本太郎「太陽の鐘」を鳴らす事業に外国籍の市民らの参加をいただきました。

【参考】平成18年度から日本ユネスコ協会連盟が「7/19民間ユネスコ運動の日」と定め7月から8月を中心に「平和の鐘を鳴らす」活動を全国展開しています。

日時；2024年6月8日（土）10時～正午
場所；前橋市「太陽の鐘」（諏訪橋横）



児童絵画展について（報告）

第13回「私の住みたい夢のまち」絵画展を開催いたしました。

今年度は、693点の応募（小学校14校780点、中学校5校113点）があり、特別賞など100点について表彰をいたしました。

- ◆9月13日（金）第1次審査
- ◆9月17日（火）第2次審査（本審査）
- ◆9月27日～10月7日展示（27日展示作業）
（インドネシアバリ島児童絵同時展示）
- ◆9月28日（土）表彰式
- ◆会場；前橋元気プラザ21 中央公民館
- ◆主催；前橋ユネスコ協会、前橋西ロータリークラブ、前橋東ロータリークラブ、ソロプチミスト前橋



県海外青年交換研修会（報告）

伊勢崎ユネスコ協会がホストとして開催されました。本会から3名参加しました。内容は、「伊勢崎市の多文化共生まちづくり」として市役所国際課及び広報課から発表があり、その後、「経験を生かして」として外国籍の方を支援する2名の発表がありました。伊勢崎市は外国籍の方が多く、街づくりの基本としているとの話でした。

日時；2024年11月2日（土）

場所；伊勢崎市緋の里

県運営研修会兼事務局研修会（報告）

沼田ユネスコ協会がホストとして沼田市ホテルベラヴィータで開催されました。

本会から3名が参加しました。

内容は、事前に各ユネスコ協会に実施したアンケート「私たちの街のたからもの」の発表と、ユネスコ協会の関わりについて意見交換を行いました。その後、「大正ロマンのまちづくり」として郷土史家、高山正氏の講演がありました。また、久米民之助邸など大正ロマンの街を見学しました。

日時；2024年10月18日（金）

場所；ホテルベラヴィータ及び大正ロマンの街（沼田市）



県ユネスコスクール研修会（報告）

藤岡ユネスコ協会がホストとして開催されました。本会から3名が参加しました。内容は、「デジタル時代の新たなESD政策」と題して法政大学、坂本旬教授の講演と、「生徒自らが命を守る力を育てる防災・減災教育の推進」（藤岡市氏小野中）、石田屋のSDGs」（株式会社石田屋）の現状と報告が行われました。

日時；2024年12月3日（火）

場所；地域づくりセンター藤岡

関東ブロック茨城大会（報告）

関東ブロック大会は、茨城県土浦市で開催されました。

◆日時；2024年10月12日（土）

◆場所；つくば国際大学（土浦市）

◆内容；全体会で「SDGs－残された6年の挑戦」と題した基調講演の後、参加者は、①SDGs活動推進のため、民間ユネスコがどのような役割を担うか、②平和活動・世界寺子屋運動と国際交流、③世界遺産・未来遺産の3分科会に分かれて事例発表を聞いた。

前橋からは5名が参加しました。

インドネシア交流について（報告）

コロナで数年間、直接の交流ができませんでしたが、2023年3月、バリ島の直行便が再開されたのに合わせて状況確認をするため先遣隊を送りましたが、今年度は本会事業としてインドネシア訪問ツアーを実施いたしました。

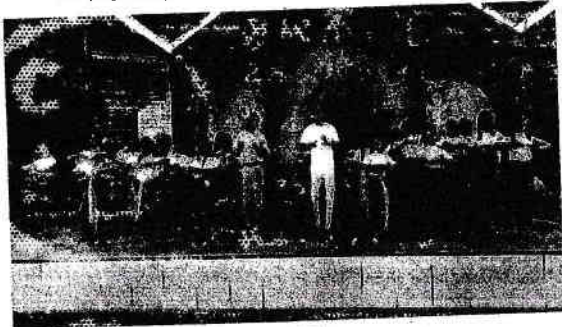
今回は、フィリピン経由のため、マニラに1泊して世界遺産を見学し、デンパサールに入りました。マドキン学園ラジャヤム一校の訪問で、同校の児童絵受領や支援金の受け渡し、そして、バリにある日本語学校の施設などの見学もいたしました。

なお、支援金は本会から2万円を学校の図書などに充てることで支援いたしました。また、前橋市国際交流協会から今回のツアーへ助成金5万円をいただきました。

◆日時；2024年10月18日～同月29日

◆訪問先；マニラ、デンパサール

◆参加者；4名（そのほか前橋から別便で2名参加）



バリ舞踊の授業風景1

事務局からのお知らせ

会費について、お知らせいたします。

2024年度事業は、皆さんの会費で活動しております。納め忘れのないよう納入をお願いいたします。納入通知の請求は、事務局へお願いします。なお、本年は銀行手数料についてはご自分でご負担願います。

なお、事務局は市教委生涯学習課です。

- ・個人会員 1口 4,000円
- ・家族会員 1口 5,000円
- ・団体 1口 10,000円

まえばし出前講座に登録！

前橋市で実施している市民向け出前講座「それいけ！まえばし出前講座2024」のメニューの一つとして前橋ユネスコ協会も登録しています。

市民講師による出前講座（P）として「地域規模で考え、地域で行動しよう！」です。内容は、①カンボジアにおける「ユネスコ世界寺子屋運動」の紹介、②中国とインドネシアとの国際交流の様子之二項目です。

出前講座は多くのメニューがありますが、学びを求める市民に向けてユネスコ活動を知ってもらう機会として今後に期待ができます。

あとがき

前橋ユネスコ協会では、自主事業の児童絵画展、平和の鐘を鳴らす事業、文化遺産巡り、バリツアーなどを実施してきたところですが、群馬県ユネスコ連絡協議会の事業にも積極的に参加をするなどコロナ前の状況に戻ったように思います。

そんな中で、本市のユネスコスクールである「大胡東小」「芳賀小」「第六中」「前橋西高校」がユネスコスクールネットワークに表示がなくなっています。先生の働き方改革の影響があるのでしょうか？地域のユネスコ協会との連携がなかなか難しい中ですが状況把握をしたいと思います。

今年7月、「論語に学ぶ」、音楽活動「葦芽（あしかび）の会」、済生会前橋病院「ぐるんば文庫」などに尽力をした中村美子さんの墓参をした。そして、多くの社会教育団体が時代の変化とメンバーの高齢化により縮小しています。前橋ユネスコ協会も会員の増強が急務と言われて久しいです。若い世代に向けたアプローチを急がなければなりません。今までの継続事業を大切にしながら、これらに向けた新しい事業の模索をしていきましょう。（須藤）